

トビウオ通信 (H25 第 5 号)

<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/> (TEL 0855-22-1720)

《平成 25 年度第 1 回日本海スルメイカ漁況予報》

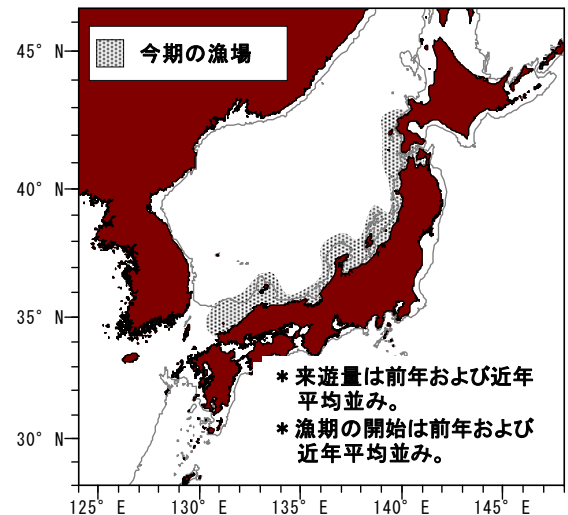
平成 25 年 4 月 30 日に水産庁および独立行政法人水産総合研究センター（日本海区水産研究所）より「平成 25 年度第 1 回日本海スルメイカ長期漁況予報 ^{※1}」が発表されました。今回はその概要と島根県沖でのこれまでのスルメイカ漁況を紹介します。

今後の見通し(平成 25 年 5 月～7 月) のポイント

対象魚種：スルメイカ
対象海域：日本海
対象漁業：主にいか釣り漁業
対象魚群：主に秋季発生系群

- (1) 来遊量：前年および近年平均並み。
- (2) 漁期：漁期の開始は前年および近年平均並み。
- (3) 魚体の大きさ：前年および近年平均並み。

* 近年は最近 5 年間(平成 20 年～平成 24 年)



(1) 来遊量

平成 24 年 10 月～11 月に実施された日本海スルメイカ稚仔分布調査では、スルメイカの幼生分布量は前年を上回り、近年平均と同様の状況でした。また、平成 25 年 4 月に実施された漁期前調査（スルメイカ新規加入量調査）では、前年および近年平均を下回る状況でした。こうした調査結果に平成 25 年 3～4 月の漁獲状況（前年を上回る）を加味し、来遊量は「前年および近年平均並み」と予測されています。

(2) 漁期

漁期は、今後（4 月～6 月）の海水温が「平年並み」（平年は過去 30 年の平均値）から「やや高

め」で経過するとの海況予測（第1回日本海海況予報^{※2}、独立行政法人水産総合研究センター平成25年4月8日公表）から「**漁期の開始は前年および近年平均並み**」と予測されています。しかし、4月中旬の表面水温は平年より低い海域が多く、気象庁の1ヶ月予報では5月中旬まで低いと予測されていることから、今後の表面水温の経過に注視する必要があります。

(3) 魚体の大きさ

魚体の大きさは、平成25年4月に実施された漁期前調査（スルメイカ新規加入量調査）による漁獲物サイズの状況から「**前年および近年平均並み**」と予測されています。

※1、※2の全文は以下をご覧ください。

※1：http://abchan.job.affrc.go.jp/gk25/20130430_n.pdf

※2：<http://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease/pr25/250408/20130408press.pdf>

島根県沖でのスルメイカ漁況

主要3港（浜田、恵曇、西郷）における小型イカ釣（5トン以上30トン未満）によるスルメイカの月別の水揚動向を図1に示しました。平成25年の1月～3月までの水揚量は419トンで、前年を上回り、近年並みの漁況で経過しています（前年比191%、近年平均比91%）。

日本海では、1月～3月は主にスルメイカ冬季発生系群が漁獲されますが、近年は低調な水揚状況が続いています。これは海水温等の条件によりスルメイカの南下経路が従来よりも沖合寄りに変化し、島根県沿岸域へのスルメイカの来遊量が少なくなっていることが原因と考えられます。

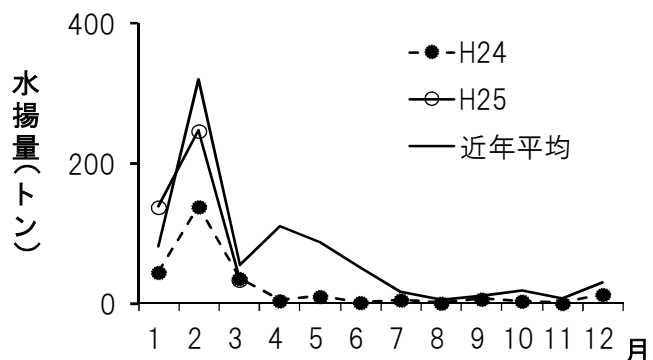


図1. 主要3港(浜田、恵曇、西郷)におけるスルメイカの水揚動向